

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.237

2025. 7. 1

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

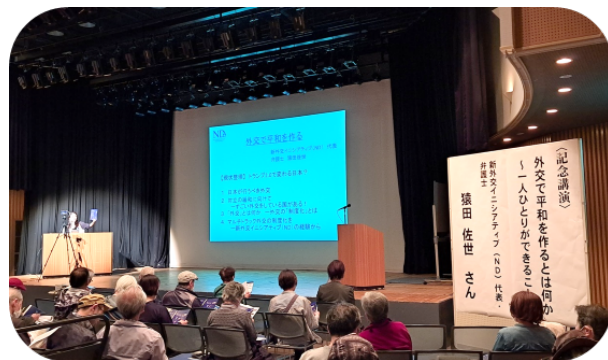
FAX 019-684-2227

**「税金は暮らしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る
政治への転換を求める請願署名（略称＝大軍拡反対請願署名）」に、ご協力ください！**

平和のために官民での外交が重要 ―九条の会東北交流会開催報告―

5月24日に、「九条の会東北交流会」（同実行委員主催）。今回の担当事務局：岩手県生協連・県消団連）を盛岡で開催しました。200人以上（会場120人・WEB80人以上）が参加し、東北各県でサテライト会場をつくって視聴もしました。

第1部では、猿田佐世さん（弁護士・シンクタンク「新外交イニシアティブ」事務局長）が、「外交で平和を作るとは何か～一人ひとりができること～」と題して講演しました。



猿田さんは、「トランプ政権下で、人類がめざしてきた『人

権・民主主義・法の支配』が壊されている」と指摘し、揺らぐ日米関係と肯定される展開を説明。台湾有事で日本が戦場となる懸念を示し、「中国との戦いになるが、予算を倍にしたとしても日本は全くかなわない」と話しました。そして、日本のすべきことのひとつとして対立緩和の外交だと説明し、米国と中国いずれかを選ぶことを望まないとする近年の東南アジア諸国を例として紹介。政府も市民社会も日常的に協力関係を築くことが緊急時に生きてくる、と強調しました。最後に、「回避する道のりがいかに困難であっても、耐え難い戦争を受け入れる困難さは外交による問題解決の困難を上回る。最後まで外交を諦めてはならない」と訴えました。



第2部では東北各県からの報告交流を実施。岩手からは、都南9条の会が、現憲法と自民党の憲法改正草案の概略をビンゴにし、現憲法と比べながら楽しく学べる「憲法ビンゴ」の取り組みを紹介しました↓

参加者からは、「平和外交の話、目からウロコ。信頼関係を築く交流や外交は非常に大事。外交のできない政府はいりません」、「猿田さんの『軍備より外交』という話を聞き、なんて素晴らしいと感激」、「平和のため、一人ひとりができることから活動を始めよう」、「外交は交渉というイメージだったが、『信頼関係をつくる』という事が理解できた」、「東北各県の活動報告もひとつひとつ聞きながら聞いた。岩手の憲法ビンゴは脳のトレーニングにもなるし、取り入れていきたい」などの感想が寄せられました。

集会アピールの採択のあと、今野順夫・福島県九条の会共同代表が閉会あいさつをし終了しました。

来年は、福島での開催です。

見逃し配信は⇒ <https://youtu.be/X.jkNqmkgNlg>



「憲法ビンゴ出前講座」やります！

**各地域9条の会のミニ学習に
いかがですか？**

都南9条の会メンバーがお邪魔して、「憲法ビンゴ」で盛り上げます。交通費と薄謝でOKです。日程調整等、詳細はご相談ください。

お問い合わせは、岩手県生協連まで。

「7月の岩手の会街宣行動」

9日(水)12:15～12:45

盛岡市大通・野村証券前

ぜひご参加ください！

《お知らせ》 どなたでも参加できます！

被爆・戦後80年・日本被団協／ノーベル平和賞受賞記念「あの日を忘れず、未来につなぐ平和への願い」

8月6日（水）～9日（土）盛岡市中央公民館（盛岡市愛宕町14-1） **入場無料**

広島・長崎に原子爆弾が投下されて80年。死没した県内被爆者の霊を慰め、再びあの悲惨な体験を繰り返すことのないよう、核兵器廃絶と平和な世界の実現を願う事業を今年は盛岡で実施します。日本被団協（日本原水爆被害



者団体協議会）は、広島・長崎の被爆体験を語り続け、三度、核兵器の惨害を起こさないよう訴えてきました。その運動が評価され、昨年12月10日「ノーベル平和賞」が授与されました。2021年に「核兵器禁止条約」が国際法となり、国連加盟国の半数近くが参加しています。岩手県では、県内全ての自治体で「唯一の戦争被爆国」である日本政府が核兵器禁止条約に参加するよう求める意見書を挙げています。被爆・戦後80年にふさわしい慰霊事業になるよう、多くの方々のご参加をお待ちしています。

共催：岩手県・盛岡市・岩手県原爆被害者団体協議会 お問い合わせ：岩手県生協連 TEL019-684-2225

◇8/6：原爆死没者追悼式、被爆体験を語る会（～8/8）、原爆写真パネル展（～8/17）、園井恵子パネル展（～8/10）、アニメ上映会（～8/8。はだしのゲン、つるにのって、ちいちゃんのかげおくり）

◇8/7：親子ピースアクション平和たいけんひろば（～8/8。

平和かるた大会、わなげ、工作コーナー、絵本・展示コーナー、クラフトコーナー）、盛岡市内を巡る戦跡バスツアー①（要申込。締切7/25）

◇8/8：平和トークセッション、夕すずみミニコンサート（KOTOKOTO 琴コンサート、女声コーラスリリック）

◇8/9：被爆について語る集い、盛岡市内を巡る戦跡バスツアー②（要申込。締切7/25）

※バスツアー以外の申込は不要です。時間や詳細は別紙チラシをご覧ください。

同会場で開催

映画「戦雲一いくさふむー」

盛岡無料上映会 開催

と き 8月9日（土）①10:00～

②13:00～

<上映時間 132 分> ※開場各回30分前

ところ 盛岡市中央公民館 講堂

（盛岡市愛宕町 14-1）

～参加申込不要～

お問い合わせ／岩手県生協連

TEL019-684-2225

コラム＝ ー今こそ日本が「日本国憲法を振りかざした平和外交を！」を行うべきー

昨今イスラエルの「イランに対する先制攻撃戦争」にトランプ米政権が割り込み「参戦」をするかどうか世情を「賑」しています。コラム子はとても腹立たしい。

先日日本原水爆禁止日本協議会の活動家に対し、「トランプ米大統領が『ハメネイ師がどこにいるか正確に分かっている』（ミサイル爆殺示唆）と発言したが、こんな「外交発言」はあるのかナー」と話しかけたら、「全く常識外れだナー」と言っておりました。コラム子はとっさに「ドイツの元首相メルケル氏は今どこで何をしているのか」と思いました。彼女は第一次米トランプ政権のときに国際会議の席上、会議テーブルを叩いて同トランプ氏に抗議発言をし、同トランプ氏を黙らせた、「強者政治家」でした。今の国際社会にはそのような政治家はいないのかナー。外交品性もない、常識もない、民主主義性もない、文化性もない、「そのような政治家」を国際社会は放置置いて良いものでしょうか。

先日カナダで開催され、採択された「G7 首脳会議声明」にはあきれ果て、開いた口が塞がりませんでした。コラム子だけだったのでしょうか。なんと同「声明」は一方的にイスラエルの自衛権を認めるなどという、国際社会から顰蹙をかうものでありました。コラム子が呆れたのはそこに、「日本国憲法下の内閣総理大臣」の石破首相が出席だったではありませんか。同「声明案」に一片の抵抗を示すことも無く、さっさと帰国。自分の内閣のイスラエルに対する「外交方針」を忘れたのかと、コラム子は言いたい。

皆さんご存知のとおり日本国憲法は前文で「非武装非戦の中立国家の建設」「平和を愛する諸国民を信頼」し、「非戦の平和外交」を進めることが、ちゃんと読めるようになっております。石破首相！今のままではあなたは「日本国憲法下の内閣総理大臣」に失格ですよ！皆さん、如何でしょうか！？（T）